



学校通信

令和7年 5月30日
東京都立葛飾盲学校長
竹内 大吾
(第3号)

「今年度の宿泊行事が始まりました」

校長 竹内 大吾

5月も終わりを迎え、梅雨入り前に、日に日に暑さを感じる季節となりました。最近のニュースでは、大阪で開催されている日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）の来場者数が、約400万人を越えたというものがありました。もともと国際博覧会は、1851年に、イギリスで、世界中の人と物が出会う場として開かれたのが始まりですが、通信や交通手段の発達した現代では、さらに、現代社会の課題に応じていくような今日的なテーマを掲げながら、実施しております。大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」になります。

さて、本校では、5月29日、30日から、今年度初の宿泊行事である小学部の移動教室が始まりました。2学期には、中学部の移動教室や修学旅行も行われます。

文部科学省の学習指導要領における小学生の宿泊行事の目的を簡単に説明しますと、「宿泊といった普段と異なる環境の中で、自然や文化などに親しみ、見聞を深めて、よりよい人間関係を築いたり、集団生活やルールなどを体験したりすること」となっています。インターネットやスマートフォンを使用して、自宅にいたがらも情報が気軽に手に入れられるようになった時代でも、実際にその場所まで行って、感じたり、体験したりしなければ分からないことは沢山あります。特に、盲学校に在籍する子供たちにとっては、匂い、音、風や空気の流れ、触った感触など様々な情報を直に体験することが、見聞を深めたりするのに大事になってきます。

大阪・関西万博の公式キャラクターの「ミャクミャク」は、細胞と水が一つになった生き物で、なりたい自分を探して、人間を真似た姿をしています。好きなことは、あらゆる生き物や物事と触れ合うことだそうです（公式ホームページより）。本校の子供たちにも、教育活動を通して、様々な人や物事に触れ合うことや体験することを増やしていけるようにしていきたいと思います。

「幼稚部 春の遠足」

4月30日(水)、みさと公園に親子遠足に行きました。幼稚部在籍親子と、乳幼児教育相談親子で活動しました。

前半は、園内のアスレチック遊具やバッテリーカーなどで、自由に遊びました。たくさん遊具の中からお気に入りの物を見付けると、とびきりの笑顔を見せながら、何度も何度も遊んでいました。後半は、全員で集まり、お名前呼びの歌、くすぐり遊びを行った後、お弁当を食べました。

雲一つない青空の下、親子で楽しいひと時を過ごしました。

(文責：林 鈴夏)

